

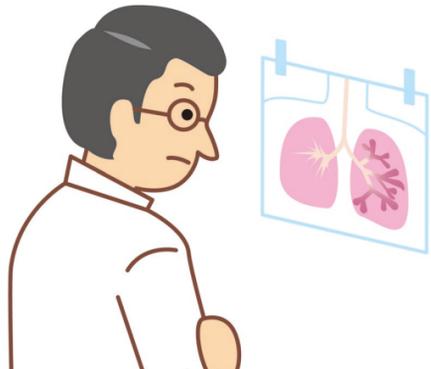


2回以上、髄膜炎、骨髄炎、蜂窩織炎、敗血症、皮下膿瘍、臓器内膿瘍などの深部感染症にかかる。

抗菌薬を服用しても2か月以上感染症が治癒しない。

重症副鼻腔炎を繰り返す。

1年に4回以上、中耳炎にかかる。



気管支拡張症を発症する。

10の徴候（小児版）

IEI*



1歳以降に、持続性の驚口瘡、皮膚真菌症、重度・広範な疣贅が見られる。

原発性免疫不全症候群

*IEI: Inborn Errors of Immunity.

従来、Primary Immunodeficiencies (PID)とも呼ばれてきた

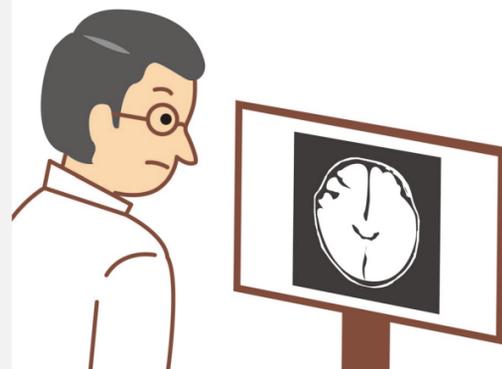
原発性免疫不全症候群の罹患率は、10,000人に1人以上と考えられています。

これらの10の徴候のうち、1つ以上当てはまる場合は、専門医にご相談ください。

日本免疫不全・自己炎症学会（JSIAD）はこちら



<https://jsiad.org>



BCGによる重症副反応（骨髄炎など）、単純ヘルプスウイルスによる脳炎、髄膜炎菌による髄膜炎、EBウイルスによる重症血球貪食症候群にり患したことがある。



乳児で呼吸器・消化器感染症を繰り返し、体重増加不良や発育不良が見られる。



家族が乳幼児期に感染症で死亡するなど、原発性免疫不全症候群を疑う家族歴がある。